

平成30年 第1回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



中 区

平成30年度 中区個性ある区づくり推進費予算案について

1 30年度予算案の基本的な考え方

【予算編成の考え方】

30年度の中区予算案は運営方針の基本目標である「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んで良し、働いて良し、訪れて良し～」の実現のため、次の4つの施策に沿って事業を展開し、中区制100周年に向けたスタートの年としていきます。

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 地域の活力があふれるまちづくり |
| 2 | 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり |
| 3 | 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり |
| 4 | 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり |

【戦略的な取組】

運営方針に基づく4つの施策による事業展開に加えて、中区がさらに安心で活力あふれるまちであることを目指して、30年度は、次の項目を重点的な取組とします。

<戦略1>誰もが安心して暮らせるまち

- ・多文化共生の推進
- ・安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
- ・子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

<戦略2>地域の賑わいづくり

- ・関内・関外エリアの回遊性向上（緑化フェアの継承・河川の魅力再発見）
- ・商店街振興や地域資源を活かした賑わいづくり

2 中区 個性ある区づくり推進費予算 区分別総括表

(単位:千円)

項目	30年度案 A	29年度予算 B	増▲減 C = A - B	増減率 C / B
中区予算案	558,690 (549,517)	558,712 (551,119)	▲ 22 (▲ 1,602)	0.0% (▲0.3%)
自主企画事業費	106,121 (101,396)	102,360 (101,220)	3,761 (176)	3.7% (0.2%)
一般管理費	452,569 (448,121)	456,352 (449,899)	▲ 3,783 (▲ 1,778)	▲0.8% (▲0.4%)
統合事務費	37,025 (36,915)	37,025 (36,915)	- (-)	0.0% (0.0%)
区庁舎・区民利用施設 管理費	415,544 (411,206)	419,327 (412,984)	▲ 3,783 (▲ 1,778)	▲0.9% (▲0.4%)

※30年度案、29年度予算の上段は事業費、下段（ ）内は、一般財源の額を記載しています。

〈参考〉区局連携促進事業

1 緊急時情報システム運用試行事業 (669千円 連携局:総務局)

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して、区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長（自治会・町内会長等）及び即時避難勧告対象区域の世帯や要援護者施設等に対して発信します。双方向機能を活用したシステムの試行運用を引続き実施し、実務上の課題と事業効果を検証します。

2 外国籍等生徒に向けた放課後学習サポート事業 (2,627千円 連携局:教育委員会事務局)

主に区内中学校に通う中学3年生の外国籍及び外国につながる生徒を対象に、国際交流ラウンジと連携し、放課後を利用した教科学習や高校進学に向けた学習支援を実施します。

3 自主企画事業費で取り組む主な事業(30年度取組のポイント)

【戦略1】誰もが安心してらせるまち

① 多文化共生の推進

事業名	30年度	29年度	差引
多文化共生推進事業	8,295 (5,087)	4,086 (4,065)	4,209 (1,022)
中区多文化共生推進アクションプランの重点行動計画の一つである「多文化スタディーツアー」(多文化共生の現場を知っていただき、担い手になるきっかけをつくるもの)に向け「ワールドカフェ」という話し合いの場を設け、検討します。			本文ページ 16

② 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名	30年度	29年度	差引
地域防災力向上事業	6,732 (6,732)	6,970 (6,970)	▲238 (▲238)
地域及び企業に対する減災支援、実践的な訓練の実施等により、地域防災力の向上を推進します。また、中学生の意見を取り入れた中区防災ガイド(中学生版)を作成し、担い手の育成に取り組みます。			本文ページ 13

③ 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名	30年度	29年度	差引
中なかいいネ!中区地域福祉保健計画推進事業	2,773 (2,773)	2,356 (2,356)	417 (417)
新たに子ども・高齢者・障害者・外国人等に係る地域活動に関心のある方や担い手を対象に分野別ワークショップを開催し、計画をさらに推進していきます。			本文ページ 10
地域包括ケアシステム推進事業	1,997 (1,997)	2,195 (2,135)	▲198 (▲138)
高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、地域包括ケアシステムの構築を推進します。			本文ページ 10
みんなで子育て事業	4,502 (4,492)	4,324 (4,314)	178 (178)
おでかけスポットマップの掲載情報を拡充するとともに、親子の外遊びのきっかけづくりの提供により、身近な地域での子育て支援をさらに進めていきます。			本文ページ 8

【戦略2】地域の賑わいづくり

① 関内・関外エリアの回遊性向上(緑化フェアの継承・河川の魅力再発見)

事業名	30年度	29年度	差引
中区まちづくり推進事業	3,424 (3,124)	3,504 (3,504)	▲80 (▲380)
回遊性の向上を目指し、ガーデンシティ横浜と連携した、花・緑による魅力ある空間の創出(日本大通り等)や区民乗船体験等を通じた河川の魅力の再発見により、区内の魅力向上に取り組みます。			本文ページ 3

② 商店街振興や地域資源を活かした賑わいづくり

事業名	30年度	29年度	差引
中区商店街魅力アップ事業	1,200 (1,200)	800 (800)	400 (400)
中区商店街の魅力を紹介する映像を作成し、区役所のモニターやホームページで発信し、PRに取り組みます。			本文ページ 4
賑わいづくり推進事業	2,000 (2,000)	- (-)	2,000 (2,000)
地域主体で立ち上げる委員会により、賑わいづくりのモデルケースとなる取組を本牧通り周辺エリアで進めます。			本文ページ 4

【その他の取組】

事業名	30年度	29年度	差引
感動区役所推進事業	20,224 (20,224)	15,526 (15,526)	4,698 (4,698)
中区庁舎(本館)について、29年度中にサイン、レイアウト等の改善検討を進めた上で、30年度から必要な改善に取り組みます。			本文ページ 16

※単位：千円、下段()内は一般財源

平成30年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業費執行計画(案)

1 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 仁川広域市中区(490千円)：友好交流協定(22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき事業を推進します。</p> <p>(2) 岩手県釜石市(150千円)：友好交流協定(26年3月締結) 当区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結。引き続き被災地の状況に応じた支援を行うとともに相互交流を推進します。</p> <p>(3) 埼玉県飯能市(540千円)：友好交流協定(26年3月締結) 鉄道5社相互直通(25年3月)を契機に協定締結。両市の鉄道会社・商工会議所を含めた6団体からなる友好交流協議会を設置し、イベント交流事業(飯能新緑ツーデーマーチ(5月)、ハローよこはま(10月)等)に出向いての相互PR・誘客に取り組みます。また、31年8月に協議会設置5周年を迎えることから、周年イベントの計画を検討します。</p> <p>(4) 群馬県嬬恋村(275千円)：友好交流協定(28年2月締結) 嬬恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰行事を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結。つまごい祭り(7月)やハローよこはま(10月)等での相互PRや、本市ホームページを充実させる等、広報によるシティプロモーションに取り組み、相互誘客につなげます。</p>
平成30年度	1,455千円	
平成29年度	1,855千円	
差引	△400千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

事業名		事業内容
2. 中区まちづくり推進事業		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市を中心です。皆様が安心して生活し、働き、訪れたくなる魅力的な中区の実現を目指してまちづくりを進めています。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行います。</p> <p>また、30年度は地域資源を活かし、関内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めます。</p> <p>(1) まちづくり対応事業(2,865千円)【拡充】 ア 横浜市都市計画マスタープラン中区プラン素案及び原案(案)の作成に向けた取組を進めます。 イ 緊急性・必要性の高い課題などについて、関係課等と連携して対応します。 ウ ガーデンシティ横浜と連携した、花・緑等による魅力ある空間の創出(日本大通り等)や区民乗船体験等を通じた河川の魅力の再発見により、区内の魅力向上に取り組み、回遊性の向上を目指します。</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業(259千円) ア 地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール策定や策定後の運用等の支援を実施します。 イ 地震火災対策として、関係局と連携し、燃えにくいまち・燃え広がらないまちの実現に向けた取組を進めます。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業(300千円) まち歩きや小中学生の校外学習向けに配布している「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第6版を発行します(30,000部)。</p>
平成30年度	3,424千円	
平成29年度	3,504千円	
差引	△80千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
3. 賑わいづくり推進事業 【新規事業】		<p>中区の街に賑わいを創出するための事業を開始します。まずは、本牧地区をモデルとして、現状の課題を抽出し、ニーズの把握を行い、新たな「横浜・本牧」の魅力発信、賑わいづくりを目的とします。30年度については、事業の推進を担う「本牧賑わい推進委員会（仮称）」設置します。</p> <p>○本牧賑わい推進委員会（仮称）</p> <p>(1) 組織・体制 本牧通り周辺エリアの各地区・分野の代表等をもって組織します。会議資料の作成やファシリテーション等の運営補助業務について、専門のコンサルタント等へ委託します。</p> <p>(2) 賑わいづくり推進計画（案） 委員会は、次の項目を踏まえ、「賑わいづくり推進計画（案）」をまとめ、地域主体の賑わいづくりを推進します。</p> <p>ア 基礎調査 専門のコンサルタント等への委託により、本牧地区の文化資源や商店街、活動団体等の基礎となるデータを収集します。</p> <p>イ ワークショップによる課題抽出・ニーズ把握 本牧地区を3～4のエリアに区分し、課題抽出、ニーズ把握を目的に、ワークショップを開催します。 中学生・高校生などの若年層から高齢者層まで参加を募り、世代ごとに「本牧の未来」を検討していきます。</p> <p>(3) イベントの支援 委員会で企画されたイベントを支援することで、委員会の活動を広く発信するほか、本牧全体が連携する機運を高めます。</p>
平成30年度	2,000千円	
平成29年度	0千円	
差 引	2,000千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 中区商店街魅力アップ事業		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指し、商店街活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業（600千円）【拡充】</p> <p>ア 商店街紹介ホームページの更新 中区ホームページに設置した商店街を紹介するページを適宜更新し、内容の充実を図ります。</p> <p>イ 中区商店街紹介映像の充実 中区内にある商店街の魅力を紹介する映像を作成、区役所の待合スペースのモニターや中区ホームページで流し、来庁者に中区の商店街の魅力をPRします。</p> <p>ウ 小学生の商店街お仕事体験 地域で成長していく子どもたちが街の商店街に愛着を持つような仕組みづくりを区、学校、地域が連携して実施します。</p> <p>(2) ハローよこはまへの商店街ブース出店（600千円） ハローよこはまの会場に商店街エリアを設け、商店街の各店舗がそれぞれの商品やサービスを提供することで、来場者に広く中区の商店街の魅力をPRします。</p> <p><参考>（経済局区配付予算） ・中区商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対し、1団体25万円を上限に補助を行います。</p>
平成30年度	1,200千円	
平成29年度	800千円	
差 引	400千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. ハローよこはま 2018		<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表の機会創出」を目的として、中区民祭り「ハローよこはま」を開催します。</p> <p>開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できる、区民主体のイベントとすることで、区民同士の新たなつながりに寄与します。また、区内外の企業とも連携し、開催を通して中区の魅力や活力を広く発信することで、区外からの来街者も楽しめる、賑わいあるイベントとします。</p> <p>(1) 開催日・会場（予定） ア 日程：10月7日（日） ※荒天順延の場合は翌8日（月・祝） イ 会場：日本大通り、横浜公園等</p> <p>(2) 実施内容 ア 子ども・地球環境・福祉・防災等をテーマに、区民団体及び企業によるブース展開（約130店） イ 区民団体等による活動発表及び中区らしい国際色あるステージ展開（約25団体） ウ 「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」等との連携 エ 保健・衛生・医療に関するテーマによる「元気フェスタ21」の同時開催</p>
平成30年度	2,925千円	
平成29年度	3,325千円	
差 引	△400千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 自治会町内会 活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めます。また、18区中17位となっている加入率（29年4月現在63.8%）の維持・向上を目指すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会長感謝会（860千円） 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動している自治会町内会長に感謝の意を表すために感謝会を開催します。また、永年勤続の会長に対し、市長表彰の報告及び区長表彰を行います。</p> <p>(2) 自治会町内会活動支援（45千円） 自治会町内会実務担当者向け研修会の開催、自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）及び補助金交付事務等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(3) 自治会町内会加入促進（338千円） 自治会町内会と連携し、町内会チラシの作成支援等の加入促進に取り組みます。また、未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(4) 掲示板整備補助事業（1,600千円） 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p>
平成30年度	2,843千円	
平成29年度	2,843千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 花いっぱい明るいまち事業		<p>本事業では、主にゴミの不法投棄や違法駐輪が問題となっている場所に、区民（町内会、ハマロードサポーター、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで不法投棄等をされにくくするための環境整備等に取り組みます。また、夏場の省エネ対策として、公共施設等に花緑のカーテンを設置し、緑化の普及啓発を行います。</p> <p>さらに、来街者へのおもてなしが求められる中、大規模なイベント等に向けたイベント対応型花壇を設置して、歓迎とおもてなし気運の向上、市民等へのPRに取り組みます。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策 (350千円)</p> <p>ア 花苗提供 1,800株</p> <p>イ 花壇等設置・維持管理 10か所</p> <p>ウ 実施予定箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、打越橋、柏葉公園、西の橋、山手駅、長者町、黄金町、竹之丸保育園</p> <p>(2) 花いっぱい省エネ対策 (150千円)</p> <p>ア 花緑のカーテン設置 4か所</p> <p>イ 実施予定箇所 山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所</p> <p>(3) 普及啓発 (100千円)</p> <p>ア 園芸講習会 (年2回)</p> <p>イ 概要 9月 秋季園芸講習会</p> <p>31年2月 冬季園芸講習会 参加予定者数各25人</p> <p>(4) イベントおもてなし (650千円)</p> <p>ア イベント対応型花壇</p> <p>イ 対象イベント ガーデンネックレス横浜2018 他</p> <p>ウ 予定地 開港広場 他</p>
平成30年度	1,250千円	
平成29年度	1,250千円	
差 引	0千円	
所 管 課	中土木事務所	

事業名		事業内容
8. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進しています。また、区の地域性に応じて策定した読書活動推進目標に基づき、区役所・図書館・学校・区民利用施設のほか、読み聞かせなどの地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業 (区民活動センター) (1,718千円)</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り (10月7日 (日) 予定)、登録団体との連携講座、多文化共生ボランティア活用事業 (外国人向け工場見学)、中区民利用施設スタンプラリー、街の先生ガイド発行 等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行 (隔月発行) 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援 (月2回)</p> <p>(2) 区民活動スタートアップ支援事業 (150千円) 自立的な活動支援のため、活動初期の団体の事業に対し補助金交付</p> <p>(3) 生涯学習事業 (220千円) 地域課題解決のため、地域で活躍する人材の発掘・育成を行います。</p> <p>(4) 文化活動支援 (130千円) 特別共催の2事業の実施のほか、共催・後援事業の支援を行います。</p> <p>(5) 読書活動推進事業 (224千円)</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会 (年3回) 及び「なか区ブックフェスタ」 (10~11月) の開催</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへの出展 (10月)、関係団体 (横浜市緑の協会・大佛次郎記念館) との連携イベントの開催 (11月)</p>
平成30年度	2,442千円	
平成29年度	2,039千円	
差 引	403千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
9. 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、横浜三塔の日イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組んでいきます。</p> <p>(1) 三塔の日イベント開催 (1,000千円) 横浜三塔の魅力を発信し中区の活性化を目指して、開港記念会館(ジャック)、横浜税関(クイーン)、神奈川県庁(キング)で連携し、コンサート、講演会、ワークショップ等を開催します。(31年3月10日(日))</p> <p>(2) 見学者向けリーフレットの作成 (300千円) 施設見学者向けに多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)のリーフレットを改訂し、配布します。</p> <p>(3) 開港記念会館の運営等 (480千円) 開港記念会館の運営に係る庁内備品費ほか。</p> <p><参考> (市民局予算) ・開港記念会館保存活用検討事業 (60,000千円) 市民の貴重な文化資源である観光資源でもある開港記念会館を適切に保存し、施設の魅力向上を図るため、躯体の現況調査を実施するとともに保存活用の内容を検討します。</p>
平成30年度	1,780千円	
平成29年度	1,530千円	
差 引	250千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
10. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、スポーツ推進連絡協議会や青少年指導員協議会等の関連団体と連携して事業展開していきます。また、ラグビーワールドカップ2019TMや東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みます。</p> <p>(1) スポーツ交流促進事業 (2,290千円) ア スポーツ推進委員活動支援(地区活動、研修会、大会等) イ 体育協会活動支援(スポーツの区民大会開催や情報提供等)</p> <p>(2) 青少年指導員活動支援事業 (2,125千円) ア 青少年指導員活動支援(地区活動、研修会等) イ 社会環境浄化活動支援(区内のパトロールの実施等)</p> <p>(3) 地域青少年育成団体支援事業 (445千円) 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>(4) 青少年交流事業 (377千円) なかくっ子クルーズ(6月)、小学生フットサル大会(31年3月)</p> <p>(5) 文明開化 ウォークラリー推進事業 (445千円) 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体(青少年指導員・スポーツ推進委員)が主体となり開催(5月)</p> <p>(6) 中区民健康づくり推進事業 (1,520千円) ア 区内小学生国際なわとび推進事業の実施(880千円)(31年1月) イ ラジオ体操普及事業の実施(地域指導者講習会、地域への指導者派遣) ウ ランニングクリニックの実施(12・31年1月)</p> <p><参考> (市民局区配付予算) ・大規模スポーツイベントの機運醸成事業 (1) ラグビーW杯:小学生ラグビー教室の開催(中スポーツセンターやYC&ACグラウンド等を活用) (2) オリンピック・パラリンピック:開催種目体験(会場:大通公園を予定)</p>
平成30年度	7,202千円	
平成29年度	7,202千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

2 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が、身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所等の資源や特性を生かして、地域での子育て支援を推進します。また、学齢期の児童生徒も含め、学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子育てのできる環境づくりを支援します。</p> <p>(1) グランマ保育園 (2,593千円) 区内の保育所・横浜保育室等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外も含めたすべての乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取り組みを行います。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行います。</p> <p>(2) 「おでかけスポットマップ」の改訂 (720千円) 子ども連れで安心して楽しめるスポットをまとめた「おでかけスポットマップ」を改訂し、内容を充実させ、子育て情報を分かりやすく提供します(発行予定部数：6,000部)。</p> <p>(3) 外遊び応援事業 (100千円) 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間作りができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作ります。(年5回予定)</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 (339千円) 待機児童ゼロの継続を目指して、中区独自の「中区保育所等のしおり」を作成し、区役所や保育所、ケアプラザ等で配布するとともに、開港記念会館で保育所等利用申請説明会を10月に開催し、利用申請の方法や各園の情報、様々な保育サービス、保育園での過ごし方などを紹介します。</p> <p>(5) 学校・家庭・地域連携事業 (750千円) 学齢期において、学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子どもの学習環境や生活環境を整えます。</p>
平成30年度	4,502千円	
平成28年度	4,324千円	
差 引	178千円	
所 管 課	こども家庭支援課	

		事業内容
2. みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てできるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。</p> <p>(1) 学齢期家庭向け支援強化プログラム (998千円) 生活困窮や養育困難等の課題を抱える家庭の児童自身が生活をしていくためのスキルを身につけるきっかけとなるような体験会を実施します。</p> <p>(2) 地域の見守り力アップ事業 (264千円) 児童虐待防止に関する地区別研修を継続実施するとともに、関係者向け研修を実施します。また、学校関係者と学び合う研修・事例検討会をスーパーバイザーを活用し実施します。</p> <p>(3) 赤ちゃん学級 (432千円) 初めての子育てを安心してスタートできるよう、第1子の養育者を対象に、身近な地域で仲間づくりや子育ての知識を学ぶことのできる教室を開催します。(7会場：各会場年10回予定)</p> <p>(4) 乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等 (701千円) 支援が必要な乳幼児を持つ養育者が具体的な育児方法を学ぶことのできる教室や講座を開催します。(ベビーマッサージ教室6コース、発達障害児支援教室・乳幼児養育者に対する教室 各教室月1回予定)</p> <p>(5) ひとり親家庭に対する相談支援の強化 (836千円) 児童扶養手当の現況届の手続きに来庁する機会を捉えて、生活状況の聞き取りや各種手続の支援を丁寧に行うことで、ひとり親家庭に対する相談支援を強化します。</p> <p>(6) 乳幼児健診の充実 (1,716千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えます。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。</p>
平成30年度	4,947千円	
平成29年度	5,071千円	
差 引	△124千円	
所 管 課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
3. 寿地区保健対策事業		<p>寿地区居住者に対して、生活習慣病予防や食生活改善等の保健対策を推進します。また、結核予防対策として、健診勧奨を適切に行い結核健診を実施するとともに服薬支援体制の充実を図ります。</p> <p>(1) 保健対策事業 (200千円) 寿地区居住者に対し、生活習慣病予防や食生活改善を行い、健康な生活が送れるよう支援します。 ア 栄養相談・指導 (ア) 個別指導 予約相談 (月2回)、健康診査後フォロー (月1回) (イ) 集団指導 寿町勤労者福祉協会との連携による住民向け講座 (年1回) イ 歯科相談・指導 (ア) 集団指導 寿町勤労者福祉協会との連携による住民向け講座 (年1回) ウ 在宅看護・介護従事者、関係機関への研修実施</p> <p>(2) 結核対策事業 (315千円) 結核の早期発見・早期治療を目指し結核健診を実施します。また、確実な治療完了を目指し関係機関と連携した服薬支援を実施します。 ア 結核検診の実施：集団検診、医療機関委託による個別健診 イ 服薬支援の実施：結核患者の直接服薬確認療法 (DOTS) の実施 (ア) DOTS実施医療機関との月1回のカンファレンス (イ) 医療機関、DOTS実施薬局との連絡会の実施</p>
平成30年度	515千円	
平成29年度	537千円	
差 引	△22千円	
所 管 課	福祉保健課	

事業名		事業内容
4. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を実施し地域等と協働で、ウォーキング等の区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを展開します。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 (1,350千円) 健康測定 (骨密度測定等) や食生活指導等を実施し、生活習慣を振り返り、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作ります。 ア 4か月児健康診査会場 イ 地域の会場やグループへの出前 ウ 健康づくりのイベント エ 保健活動推進向け測定機器取扱い研修 オ 糖尿病予防健診</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 (370千円) 子育て世代へのウォーキング啓発や、保健活動推進員の活動を支援するため、地域へ出向きウォーキング方法の講座を開催します。</p> <p>(3) 元気フェスタ21事業 (250千円) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し健康増進に向けた啓発活動を実施します。(ハローよこはまと同時開催)</p> <p>(4) 食育推進事業 (469千円) ア 食生活等改善推進員会やJA横浜等の関係団体や飲食店と連携し、乳幼児、学齢期、高齢者等を対象に年代別の個別食事相談や講座、イベントを開催します。 イ 食育の関係者向けの研修を開催するとともに、ネットワークを構築します。</p>
平成30年度	2,439千円	
平成29年度	2,888千円	
差 引	△449千円	
所 管 課	福祉保健課	

事業名		事業内容
5. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めることで、地域包括ケアシステムの構築を推進します。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (790千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、ふれあい運動会や新たにノルディックウォーキング等の各種行事を支援するとともに、加入促進チラシの作成 (8,500部) 及び会員向け研修会を実施します。また、銭湯を会場とした寄席等のイベントを実施し、公衆浴場が地域の交流・介護予防活動の場となるよう支援します。</p> <p>(2) 介護予防事業 (300千円) 脳トレリーダー養成講座 (区配付予算事業) 修了者等が主体となって、地域で介護予防講座を実施できるよう、30年度は「中区版コグニサイズDVD」を作成し、住民主体の取組を促進していきます。</p> <p>(3) 認知症支援 (547千円) 認知症高齢者等の介護者を支援するため、臨床心理士による個別相談 (18回・36人) 及び啓発講演会を実施 (6月) します。また、認知症にやさしい地域づくりのため、認知症サポーター企業認証を実施し、認証事業所の取組を区ホームページで紹介します。</p> <p>(4) 寿地区の高齢者支援等に関する検討 (360千円) 寿地区高齢者の介護予防・健康維持のための専門職による個別支援が効果的かつ円滑に行われるよう、支援方法や地域資源との連携強化に向けた課題等について検討を行います。</p>
平成30年度	1,997千円	
平成29年度	2,195千円	
差 引	△198千円	
所 管 課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
6. 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業		<p>自分たちが暮らすまちを、それぞれの地域の個性や魅力が生きる、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちにするために、様々な主体が協働して中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を推進します。</p> <p>(1) 中区地域福祉保健計画推進事業 (2,236千円) ア 第3期計画中間振り返りの実施 地域や区役所等のこれまでの活動・施策を振り返り、今後計画をどのように進めていくかを検討し、第4期計画につなげます。 イ 分野別ワークショップの開催とグループインタビューの実施 地域活動に関心のある方や担い手を対象とした地域活動の分野別ワークショップ (こども、高齢者、障害者、外国人等) を開催し、参加者同士をつなぐ場とし、計画推進のための3つの土台づくり (情報・交流・人財) を進めます。また、この場を活用し、第4期計画策定へ向けたグループインタビューを実施します。 ウ 地域ケアプラザでの多文化共生の取組 地域の身近な相談窓口である地域ケアプラザについて多言語リーフレットを区独自で作成し、区内で増加・定住傾向がある外国人に対しPRします。また、なか国際交流ラウンジや地域団体と連携し多文化交流推進の取組を地域ケアプラザで行います。</p> <p>(2) 中なかいいネ！みんなで見守り推進事業 (230千円) 民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動員、自治会町内会関係者など様々な担い手が連携して、多様な形で地域の中での見守り活動ができるよう支援します。また、引き続き「中なかいいネ！見守りキーホルダー」の普及に取り組みます。</p> <p>(3) 「福祉保健センターからのお知らせ」発行事業 (307千円) 窓口配布分8,000部 (参考：広報よこはま折込分76,000部)、録音版の作成 (中区社会福祉協議会で貸出)</p>
平成30年度	2,773千円	
平成29年度	2,356千円	
差 引	417千円	
所 管 課	福祉保健課	

事業名		事業内容
7. 中区障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けることができるよう、区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (540千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 (36回) イ 支援者のスキルアップを図り、地域社会の理解を深める研修会の開催 (8回：全体研修2回、部会研修6回)</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (150千円) ポレポレまつり等、区内で開催されるイベントへの参加など、障害者作業所等の自主製品 (ポレポレグッズ) の販路拡大支援を通じ、障害者に対する理解を深め、積極的な社会参加を促します。 ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助 イ 販路拡大委員会の開催支援 (6回) ウ ナカナ・カフェ運営委員会の支援 (6回) エ 区役所内定期販売会の支援 (12回)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 (230千円) 障害者差別解消法 (28年4月施行) の理念である「共生社会の実現」に向け、障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 ア 啓発用のポスターやチラシの作成と公共機関等への掲示・配布、町内会での回覧、地域の公共掲示板への掲出等 イ 地域防災拠点訓練での当事者参加による啓発活動や、地域の集会・活動等での出張講座及び研修の実施</p>
平成30年度	920千円	
平成29年度	930千円	
差 引	△10千円	
所 管 課	高齢・障害支援課	

3 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名		事業内容
1. 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業		<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、中区は、協議会に対し、活動への補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を都市整備局、文化観光局、市民局と連携しながら行っています。</p> <p>また、まちの活性化には、更なる活動の参画者・担い手を増やしていただくことが重要です。地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけでなくアーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しています。こうした活動に係る協議会等への支援も通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 (500千円) ア 防犯啓発活動イベント等の開催 (防犯パトロール毎月ほか) イ 地域防犯拠点 (ステップワン、ステップスリー) の運営・管理 ウ 協議会定例会等の開催 (総会1回、役員会3回、定例会4回)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円) ア 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援 イ 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援 ウ まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案 エ 地域活動に係る広報活動の支援 (ホームページ運営、「まちづくりニュース」の編集、視察・記者対応補助等)</p>
平成30年度	2,000千円	
平成29年度	2,000千円	
差 引	0千円	
所 管 課	区政推進課	

事業名		事業内容
2. エコ・食・暮らし 安心風土広め隊		<p>振り込め詐欺や悪質商法被害未然防止のための啓発活動、自立的な消費者の育成や持続可能な消費の実践に向けた教育・啓発活動を推進することにより、暮らしに関する区民の関心を高め、区民自らが「未来を見据えた賢い暮らしの行動」を選択する安心風土の醸成を図ります。</p> <p>(1) 消費生活推進員の育成 ア 地区代表会議の開催 (毎月1回 8月・12月を除く) イ 研修等の実施 消費生活推進員が主体的に地域での活動を企画実施できるよう交流や研修の機会を提供し、支援します。</p> <p>(2) 消費生活推進員による地区活動の支援 (380千円) 地区連合町内会を基本単位として8地区を構成し、各地区で実施する振り込め詐欺被害未然防止活動や悪質商法未然防止啓発活動、暮らしに関する講座等の開催を支援します。(各地区 年2回以上)</p> <p>(3) 中区消費生活推進員啓発事業の支援 (480千円) 消費生活推進員が消費生活に関する課題について学習し、知識を習得するとともに、広く区民に情報提供を行う活動を支援します。 ア 暮らしのセミナーの開催 (セミナー3回、施設見学会1回) イ ハローよこはまにおけるキャンペーン (10月、横浜公園等) ウ 消費生活展・善意バザー (31年2月、上台集会所) エ 情報紙の発行 (31年2月)</p>
平成30年度	860千円	
平成29年度	860千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」を達成するためには、区民・事業者・行政が一体となって取り組むことが重要であるという認識のもと、分別の徹底はもとより、小型家電製品等のリサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス（食べ残しや手つかず食品）の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動（178千円）</p> <p>ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口 イ 庁舎内設置の資源回収BOX（小型家電、インクカートリッジ）、中図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化 ウ 「中区イベント用ごみ箱貸出事業」：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱無料貸与</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY（590千円） 区民・事業者・ボランティア団体等による清掃活動（5月実施予定）</p> <p>(3) 美化運動支援事業（368千円） まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援（随時）</p> <p>(4) まちの美化対策事業（700千円）</p> <p>ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ（9回）や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施 イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策 ウ 外国人向けの啓発（チラシ作成、施設見学会、分別講座）</p> <p>(5) 美化推進者表彰（350千円） まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈</p> <p>(6) 美化推進員事業（600千円） 美化推進員（環境事業推進委員）による美化推進重点地区の啓発や軽微な清掃活動の実施（年間約150日）</p> <p>(7) 温暖化対策事業（150千円） 打ち水キャンペーンや打ち水用具の無料貸与を実施（随時）</p>
平成30年度	2,936千円	
平成29年度	2,946千円	
差 引	△10千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図っていきます。特に、地域防災拠点の機能強化については、発災時の円滑な避難所運営を目的に、拠点訓練の充実に努め、引き続き区民の自助・共助の意識を醸成して参ります。</p> <p>また、大地震の対策に加え風水害への対策についても、中区総合防災訓練等の各種訓練を通じ、中土木事務所、消防署、消防団、警察署等の関係機関と連携を密にすることで、発災時に備えた顔の見える関係作りを進めていきます。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業（310千円）</p> <p>ア 地域及び企業等に対する減災支援（防災減災推進研修～支援編～、防災まち歩き、減災説明会） イ 絆月間における防災・減災講演会 ウ 地震・風水害対策等の啓発</p> <p>(2) 災害時の担い手育成事業（1,320千円）</p> <p>ア 防災出前教室（減災出前講座、防災体験教室） 中区防災ガイド（中学生版）の作成及び啓発 イ 災害時に活用できる救助資機材取扱研修</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業（5,102千円）</p> <p>ア 防災訓練 （ア）中区総合防災訓練の実施 （イ）情報受伝達訓練の実施 （ウ）帰宅困難者対策訓練の実施 イ 地域防災拠点の充実に訓練の実施 ウ 本部体制の充実に災害対策 エ 各種会議等の開催</p>
平成30年度	6,732千円	
平成29年度	6,970千円	
差 引	△238千円	
所 管 課	総務課	

事業名		事業内容
5. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって、高齢者を狙った振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。 ア 総会の開催 (5月) イ 各種防犯キャンペーンの実施 (5月・10月) ウ ハローよこはまへの出店 (10月) エ 地域の安全・安心を考える集い「寄席de防犯」の開催 (31年2月) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催 (年6回)</p> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページ、広報よこはまなどを活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円) ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校 (4月に新1年生へ防犯ブザー貸与)</p> <p>(4) 防犯教室・講座事業 (427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
平成30年度	2,364千円	
平成29年度	2,137千円	
差 引	227千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 放置自転車対策・交通安全啓発事業		<p>区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故への対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みます。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 (150千円) ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 各キャンペーンへの参加 ウ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力 エ 放置自転車等移動要望への対応</p> <p>(2) 交通安全啓発事業 (1,428千円) ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～) ウ スクールゾーン対策の実施 (7月～) エ 各団体への補助金交付 (5～7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 高齢者及び自転車交通事故対策会議の開催 (年2～3回)</p> <p><参考> (道路局区配予算) ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (11月)</p>
平成30年度	1,578千円	
平成29年度	3,634千円	
差 引	△2,056千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する効率的かつ効果的な監視指導の実施と、従事者や消費者に対する衛生教育・情報発信の充実により、食中毒の発生件数を抑えるとともに、発生した食中毒の拡大・再発を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保事業 (910千円)</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的・効率的な監視指導 中華街や区内のホテル、宴会場、社会福祉施設等に対し、迅速検査を併用した監視指導のほか、多言語チラシを活用した啓発を実施します。</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導 赤レンガ倉庫や大さん橋等で開催される食品が提供される大規模イベントの主催者や出展者に対し、衛生的な取扱いの指導を行います。</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 区内の保育園や高齢者施設に対し、施設に立入り点検や助言を行うとともに講習会等を通じて食中毒予防を支援します。</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業 (510千円)</p> <p>ア 食品衛生講習会等 消費者や食品取扱者に対して、食の安全に関する食品衛生講習会を開催するとともに自治会や町内会向けに食中毒予防の注意喚起を行います。</p> <p>イ パネル展 区役所本館、別館庁舎内等において食中毒予防のパネル展を実施します。</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 消費者を対象とした食中毒予防のイベントを飛鳥Ⅱやイセザキモール等で開催します。</p>
平成30年度	1,420千円	
平成29年度	1,326千円	
差 引	94千円	
所 管 課	生活衛生課	

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>犬猫等の糞尿の不適切な処理や公園での放し飼いなど飼主のマナー違反に起因する苦情が、区民から多数寄せられていることから、飼主に対し適正飼育を啓発しマナー向上を図り、事故やトラブルを防止します。</p> <p>災害時のペット対策については、飼主のほかペットを飼っていない人に対しても必要性を周知することが求められており、地域防災拠点の関係者を中心に、災害時ペット対策の必要性を啓発、特に飼主に対しては日ごろの準備を中心に啓発を実施します。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時のペット対策の検討やルール作りを支援します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (283千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、獣医師会と連携して、犬の飼主に啓発を実施します。</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者に啓発を実施します。</p> <p>ウ 放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携して、散歩中の飼主に対して啓発、指導を実施します。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (560千円)</p> <p>ア ペットの飼主や防災拠点関係者等を対象に講習会を開催し、災害時ペット対策の普及を図ります。</p> <p>イ 各防災拠点の拠点訓練時に、災害時ペット対策に関する啓発の実施を提案し、これを支援します。</p> <p>ウ 30年度も検討を継続する大鳥、立野、元街、間門の4拠点について活動を支援するとともに、他の拠点においては検討組織の立ち上げを促し同行避難訓練の実施等により課題を確認しながら、災害時ペット対策に関する検討とルール作りを支援します。</p>
平成30年度	843千円	
平成29年度	677千円	
差 引	166千円	
所 管 課	生活衛生課	

4 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1. 感動区役所推進事業		<p>区民満足度向上（感動区役所）を目指すため、区民サービスへの職員意識向上及び区庁舎の改善を推進していきます。</p> <p>(1) CS及びES向上事業（530千円） 課長をリーダーとし、職員の中からサブリーダーを選び、区役所全体でお客様満足度の向上に取り組みます。また、職場を越えた横断的な組織（中LOVEプロジェクト）により「チーム中区」としての結束力を高めます。あわせて、研修等により職員育成に取り組みます。</p> <p>(2) 人権啓発事業（677千円） 区民及び職員の人権意識の向上を目指します。 ア 区民・区内企業対象の人権啓発講演会 イ 責任職及び職員対象の人権啓発研修</p> <p>(3) 親しまれる区庁舎改善事業（19,017千円）【拡充】 主に老朽化が進む本館について、来庁者にとって、より分かりやすく、利用しやすい、快適なものとなるよう庁舎環境整備の取組を進めます。 ア 総合窓口案内・警備業務委託（通年） イ 庁舎案内サインの見直し等</p>
平成30年度	20,224千円	
平成29年度	15,526千円	
差 引	4,698千円	
所 管 課	総務課	

事業名		事業内容
2. 多文化共生推進事業		<p>中区は外国人が市内で最も多く、人口の1割強を占めています。中区多文化共生推進アクションプラン（29年6月策定）を踏まえ、日本語がわからない外国人区民に対して広報紙やホームページ等により、わかりやすく行政・地域情報を伝えます。</p> <p>また、アクションプランの行動計画を着実に実行し、多様な人が住みやすいまちづくりを目指し、多文化共生を推進します。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業（2,091千円） 「Naka Ward Town News」（英語）と「春夏秋冬」（中国語）を発行し、中区在住の外国籍住民に役立つ生活情報、行政情報等を掲載します。 発行回数及び発行数：年4回（英語・中国語各4,100部）</p> <p>(2) 多言語ホームページ事業（804千円） 英語、中国語、ハングル、やさしい日本語のホームページを月1回更新します。特集（広報よこはま・なか区版からの抜粋）、イベント情報、生活情報等を掲載し、タイムリーに情報提供します。</p> <p>(3) 区民生活マップ作成事業（1,800千円） 区民生活マップは、日本語版及び外国語版（英語、中国語）を発行しています。30年度は日本語版を作成します。 作成部数：30,000部 発行実績：中国語（H29） 英語（H27） 日本語（H26） 日本語（H24）</p> <p>(4) アクションプラン事業（3,600千円）【新規】 重点行動計画の一つである「多文化スタディーツアー」（多文化共生の現場を知るツアー）をより効果的に行うために、区民との話し合いの場（ワールドカフェ）を設け、検討します。 また、中区に転入してきた外国人住民に必要な情報を母語で伝える「ウェルカムキット」を作成します。</p>
平成30年度	8,295千円	
平成29年度	4,086千円	
差 引	4,209千円	
所 管 課	区政推進課	

事業名		事業内容
3. 広報・広聴事業費		<p>広報よこはま・なか区版の発行、「市民からの提案」等の広聴の受付・回答、法律相談及び中区ホームページの運営、ツイッター等による情報発信を行います。</p> <p>(1) 広報事業 (7,233千円) 広報よこはま・なか区版を市版とあわせて毎月1回発行します。</p> <p>(2) 広聴事業 (30千円) 「市民からの提案」等の広聴に対応します。</p> <p>(3) 特別相談事業 (900千円) 弁護士による法律相談を、毎月第1～3火曜に実施します。</p> <p>(4) 広報相談係運営事業 (983千円) 広報配布団体との連絡・調整を行います。</p>
平成30年度	9,146千円	
平成29年度	8,298千円	
差 引	848千円	
所 管 課	区政推進課	

事業名		事業内容
4. なか国際交流ラウンジ運営事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 日本語が全くできない外国人のための日本語教室事業 (180千円) ア 日本語教室開催 (前期30人:5月～10月、後期:11月～31年3月) イ 日本語教室受講者への119番通報体験 (6月)・ごみ分別講習</p> <p>(2) 日本語ボランティア養成事業 (320千円) (各ボランティア教室と連携) ア 日本語ボランティアの養成 入門講座 (全8回程度) ブラッシュアップ講座 (全4回程度) イ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (5月、12月)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 (790千円) ア 国際理解セミナーの開催 (年2回) イ 多文化フェスタ開催 (9月23日(日・祝) 開港記念会館) ウ 地域との連携 (地域交流会や地域子供会事業支援等)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア育成・活用事業 (1,100千円) 【拡充】 地域の課題解決や連携協力、多文化交流イベントの支援などを行うボランティアを育成し、コーディネートを実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 (240千円) 【拡充】 各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(6) その他運営・事務費等 (2,479千円)</p>
平成30年度	5,109千円	
平成29年度	4,319千円	
差 引	790千円	
所 管 課	地域振興課	